

|             |  |      |          |       |
|-------------|--|------|----------|-------|
| GE-1-i-01   | <b>薬学人としての教養入門</b>   | 第1学年 | 前期<br>必修 | 1.5単位 |
| 担当者         | 重野 豊隆・中川 弘一・川崎 勝義・吉澤(渡邊) 小百合・香川 博隆・山本 弘  |      |          |       |
| 一般目標 (GIO)  | ① 様々な学問領域に触れ、多様な知のあり方と考え方を理解し身につける。<br>② 大学に必要な「学びの技術 (アカデミックスキル)」の基礎を修得する。  |      |          |       |
| 到達目標 (SBOs) | 学生各位が到達すべき目標は以下のとおりである。<br>① 学問体系の概要、多様性を知り、諸分野の基礎について理解する。<br>② 基本的なアカデミックスキルを理解し、実践できる。  |      |          |       |
| 受講心得・準備学習等  | <input type="checkbox"/> 本講義は、原則的に、4月から6月の午後、2時限連続で開講する(日数に換算すると、2時限連続講義を7日分実施することになる)。詳細な講義スケジュールについては、初回講義時に説明を行う。<br><input type="checkbox"/> 担当教員が事前に提示する課題等がある場合は必ず予習した上で参加すること。なお、事前に課題の提示がなされていなくとも、図書館等を利用し、当該回の学問領域についてふれておくこと。予習の時間は2時間程度とする。<br><input type="checkbox"/> 一つの学問領域のみにこだわらず、幅広い知的好奇心を持つことを心掛けていただきたい。また、現代社会を生きる「ひとりの人間」「ひとりの市民」として柔軟な発想・思考をもって講義に参加してほしい。 |      |          |       |
| 事後学習・復習等    | <input type="checkbox"/> 担当教員が出した課題は期限内に提出すること。<br><input type="checkbox"/> 本講義をきっかけとして、様々な学問分野に対して幅広く目を向けていただき物事を多角的に捉えなおしていただきたい。<br><input type="checkbox"/> 各回の論点について、直接的な復習については2時間程度を目途とするが、将来に亘り継続して考え続けることが望ましい。   |      |          |       |
| オフィスアワー     | 重野豊隆 [哲学研究室; 月曜日 17:10-18:30、火曜日 14:15-17:00.]<br>山本弘 [法学研究室; 毎週月曜日 15:00-18:00.]<br>香川博隆 [情報学研究室; 13:30-18:30。(講義・会議・出張などによる不在及び土曜・休日を除く)]<br>吉澤(渡邊)小百合 [教育学研究室; 火曜日・水曜日 12:30-13:30 (メールによる質問・相談は随時受け付ける).]<br>川崎勝義 [心理学研究室; 火曜日 11:40-12:40。その他メールによる質問も受け付ける。]<br>中川弘一 [物理学研究室; 前期「物理学」の授業がある日の 16:30-18:00。その他の時間帯を希望する場合は担当者に確認すること。]  |      |          |       |

### 授業の形式と各回の内容

| 授業の形式 |        | 講義およびSGD  |        |
|-------|--------|---|--------|
| 回     | 項目     | 内容  | 担当者    |
| 1     | ガイダンス  | ① 学問体系を大まかに捉える。   | 重野・山本  |
| 2     |        | ② 諸種のアカデミックスキルについて概観する。   | 重野・山本  |
| 3     | 哲学とは   | ① 哲学を深める。   | 重野     |
| 4     |        | ② 「読む力」・「書く力」を高める。: 要点のまとめ方、レポートの書き方、等。                                       | 重野     |
| 5     | 法学とは   | ① 法学を深める。   | 山本     |
| 6     |        | ② 「議論する力」を高める。: SGD(Small Group Discussion)とはなにか、議論の仕方、司会、ファシリテーション、記録のとり方、等。 | 山本     |
| 7     | 情報科学とは | ① 情報科学を深める。   | 香川     |
| 8     |        | ② 「調べる力」を高める。: 情報検索の方法、図書館の使い方、等。   | 香川     |
| 9     | 教育とは   | ① 教育を深める。   | 吉澤(渡邊) |
| 10    |        | ② 「伝える力」・「発表する力」を高める。: プレゼンテーション技法、資料の作成方法、等。                                 | 吉澤(渡邊) |
| 11    | 心理学とは  | ① 心理学を深める。  | 川崎     |
| 12    |        | ② 「論理的思考」・「クリティカルシンキング」に関する能力を高める。論理的思考、批判的思考の方法理解と態度修得、等。                    | 川崎     |
| 13    | 物理学とは  | ① 物理学を深める。  | 中川     |
| 14    |        | ② 問題解決能力を向上させる、法則を活用する。   | 中川     |

|         |   |
|---------|---|
| 成績評価の方法 | 各担当者による課題(小レポート又は小テスト)の結果及び受講態度による。   |
| 成績評価の基準 | 各回における小レポート又は小テストの提出によって成績評価を行う。<br>なお、配点は以下の通りとする。<br>・各担当者による課題(小レポートあるいは小テスト)<br>ガイダンス担当者による課題 = 10点分<br>その他の担当者による課題 = 15点分×6担当者<br>・私語や無断退席など受講態度が著しく悪い場合は減点対象とする。 |
| 教科書     | プリントを配布する。  |
| 参考書など   | 講義中に適宜提示する。   |